

明治三十九年

島根縣縣令

年次	明治39年	
大分類	12	
小分類	E	
簿番	冊号	3
冊数	1	

明治三十九年二月十二日

島根縣知事松永武吉

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

年々變遷シテ舊ノ二月末日ヲマニ新課メ施行スヘシ

前請等賦課ノ舊ニシテ舊課ニ對シテ新課スヘキ者ハ其交迎四半以終ニ出立メ新課額五
ヘキ新課ハ二月末日ヲマニ新課メ施行スヘシ

明治三十九年二月十二日 島根縣令第十一號

同 藤香谷村

同 藤川村

同 藤川本村

同 呂智福寺聯村

島根縣令第十一號

五 馬

島根縣

島根縣令第八號

規則

明治三十四年三月三日 本縣令第十一號縣稅賦課規則中縣會ノ議決ヲ經内務大臣大藏大臣ノ許可
ヲ得テ別紙ノ通改正シ明治三十九年度所屬ヨリ施行ス年三月迄ヲ後期トナシ各其ノ初月

一日 明治三十九年三月一日

島根縣知事松永武吉

但シ松江府那賀郡藤田町ニ係ル地租割及漁業採藻稅ハ四月一日ヲ期日トシテ一時ニ
全額ヲ賦課ス

營業稅附加稅及礦業稅附加稅ハ國稅納期初日ヲ期日トシテ之ヲ賦課ス

第二條 月稅ハ該月一日ヲ期日トシテ之ヲ賦課ス

第三條 日稅ハ納稅義務發生ノ當日ヲ期日トシテ其ノ豫定日數ニ依リ之ヲ賦課ス

第四條 屠宰稅ハ豫定頭數ニ依リ其ノ届出ノ時々之ヲ賦課ス

第五條 年稅ハ四月一日後ニ於テ追加ヲナストキハ其ノ時々縣參事會ノ議決ヲ經テ賦課ノ
期日ヲ定ム

第六條 賦課期日後ニ於テ新ニ納稅義務發生シタルモノハ其ノ當日ヲ期日トシテ二期ニ分ツ
モノハ四期ニ係ル地租割ヲ除ク外各其ノ一期分其ノ他ノ年稅田租ニ係ル地租割ヲ含メ及月稅ハ全額ヲ
賦課ス

第七條 賦課期日後ニ於テ納稅義務消滅シ又ハ移轉變更スルゴトアルモ其ノ賦課額ヲ減少
シテ賦課ス

島根縣

前項ノ場合ニ於テ地租割及營業稅附加稅賦業稅附加稅ニ付テハ各其ノ本稅ノ例ニ依ル
但シ地租割ハ納稅義務移轉ノ場合ニ限リ前項ヲ適用ス

第八條 納稅義務異動ノ爲メ稅額ノ増加スルモノハ其ノ當日ヲ期日トシ更ニ其ノ差額ヲ賦課ス
賦課ヲ受ケタル期間内ニ於テ同一營業ヲ廢起シタルモノ若クハ納稅義務ノ移轉ヲ受ケタルモノニ付テハ前項ノ差額ノ外其ノ期ノ終リ迄賦課セス

第二章 地租割

第九條 地租割ハ年稅トシ豫算ニ定ムル稅率ニ依リ賦課期日現在ノ地租額ヲ標準トシテ之ヲ賦課ス
但シ地租徵收期限第一期開始後第二期開始前及第三期開始後十二月末日以前ニ於テ有租地トナリタルモノニ就テハ其ノ年分地租徵收額ヲ標準トシテ之ヲ賦課ス

第三章 營業稅及雜種稅

第十條 營業稅ハ左ノ課目及課額ニ依リ之ヲ賦課ス
商業稅

上リ高金千圓以上	金七圓
以上五百圓ヲ加フル毎ニ金參圓ヲ増加ス	金五圓
全	八百圓以上
全	七百圓以上
全	金四圓

販賣業 年稅

全	六百圓以上	金參圓五拾錢
全	五百圓以上	金參圓
全	四百圓以上	金貳圓五拾錢
全	參百圓以上	金貳圓
全	貳百圓以上	金壹圓五拾錢
全	百圓以上	金壹圓
全	五拾圓以上	金六拾錢
全	五拾圓未滿	金四拾錢
年稅	金四圓	
年稅	金貳圓	

金錢貸付業 年稅 金貳圓
物品貸付業 年稅 金貳圓
船車、動物、其他普通物品ト稱セサルモノヲ包含ス
運送業

運送業 年稅

一 等	上リ高金千分ノ十	一營業場毎ニ金八拾錢
二 等	上リ高金千分ノ十	一營業主毎ニ金參拾錢

營業場ヲ設ケ渡船以外ノ運送ヲナスモノ
船ヲ以テ運送スルモノニシテ營業場ヲ設ケサルモノ及渡船業ヲナスモノ

三等 年稅 一頭毎ニ金四拾錢

營業場ヲ設ケス牛馬ヲ以テスルモノ

席 貸 業 年稅 金貳圓

旅人 宿業 年稅 宿客十泊ニ付金七錢

一等 上リ高百圓以上ノモノ 年稅 宿客十泊ニ付金六錢

二等 上リ高百圓未滿ノモノ 年稅 宿客十泊ニ付金貳錢

下宿屋業 年稅 宿客十泊ニ付金貳錢

木錢 宿業 年稅 宿客十泊ニ付金貳錢

土木請負業 年稅 請負金額千分ノ五

勞力請負業 年稅 一營業場又ハ一營業主毎ニ金壹圓

賄方請負業 年稅 金貳圓

葬具請負業 年稅 金四圓

兩替業 年稅 金四圓

賣藥行商業 年稅 金壹圓

牛馬宿業 年稅 金四拾錢

牛馬賣買業 年稅 金參圓

置 屋

一等地 月稅 藝妓 十二年以上一人ニ付金五拾錢
十二年未滿一人ニ付金貳拾五錢
娼妓ヲ兼ヌルモノ一人ニ付金拾七錢

松江市、那賀郡濱田町 月稅 藝妓 十二年以上一人ニ付金四拾錢
十二年未滿一人ニ付金貳拾錢
娼妓ヲ兼ヌルモノ一人ニ付金拾參錢

二等地 月稅 藝妓 十二年以上一人ニ付金參拾錢
十二年未滿一人ニ付金拾五錢
娼妓ヲ兼ヌルモノ一人ニ付金拾錢

能義郡安來町、歟川郡今市町、杵築町、平田町、邇摩郡温泉津町、美濃郡益田町、
周吉郡西郷町 月稅 藝妓 十二年以上一人ニ付金參拾錢
十二年未滿一人ニ付金拾五錢
娼妓ヲ兼ヌルモノ一人ニ付金拾錢

三等地 月稅 藝妓 十二年以上一人ニ付金貳拾錢
十二年未滿一人ニ付金拾錢
娼妓ヲ兼ヌルモノ一人ニ付金拾錢

八東郡美保關村、能義郡廣瀨町、安濃郡大田町、邇摩郡大森町、鹿足郡津和野町
四等地 月稅 藝妓 十二年以上一人ニ付金貳拾錢
十二年未滿一人ニ付金拾錢

一等乃至三等地以外、各町村 年稅 金壹圓五拾錢

公ナル周旋業 年稅 金壹圓五拾錢

代辨業 年稅 金貳圓
 仲買業 年稅 金貳圓
 仲立業 年稅 金貳圓
 工業稅

上リ高金千圓以上 金八圓
 以上五百圓ヲ加フル毎ニ金參圓五拾錢ヲ増加ス

製造業 年稅
 物品ノ修理ヲナシ又ハ
 染物、洗濯、穀物ノ精白
 搗碎ヲナシ其ノ他製造
 ノ一部ヲ助成スルモノ
 及ヒ蠶種ヲ製作販賣ス
 ルモノ又ハ推茸ヲ乾製
 販賣スルモノヲ包含ス
 全 八百圓以上 金六圓
 全 七百圓以上 金五圓
 全 六百圓以上 金四圓
 全 五百圓以上 金參圓五拾錢
 全 四百圓以上 金參圓
 全 參百圓以上 金貳圓五拾錢
 全 貳百圓以上 金貳圓
 全 百圓以上 金壹圓五拾錢
 全 五十圓以上 金壹圓
 全 五十圓未滿 金六拾錢

印刷業 年稅 金貳圓
 輪轉器械壹臺ニ付 年稅 金貳圓

其ノ他ノ器械壹臺ニ付 年稅 金壹圓
 寫真業 年稅 金貳圓五拾錢

職工
 女子ハ本稅ノ半額トシ十八年未滿男女ノモ、ハ各其ノ稅額ノ半額トス
 一等 年稅 金貳圓
 琴三味線職、寫真師、鐵砲職、蓄音器職、樂器職、馬具職、酒杜氏、庭造師、馬車
 人力車職、料理人、水晶瑪瑙細工職

二等 年稅 金壹圓五拾錢
 時計師、煙火製造人、佛師、簪細工職、靴職、表具師、菓子製職、自轉車職、轆轤細
 工職、縫箔縫紋袋物職、硝子細工職、陶器模樣書職、木工、左官、石工、塗物師、鐘
 村下、ラムネ製職、パン製職、蝙蝠傘製職、煉瓦積職、洋服仕立職、彫刻師、金銀
 洋銀細工職、鼈甲鼈甲擬製細工職、度量衡職、狹燒鉄職、素麵温飴製職、蠟燭鬚付油
 製職、眞鍮銅細工職、木挽、荷積車製職、鐵葉細工職、桶工、板屋根葺、疊刺、鍛
 冶、染物職、鑄物職、張物職、小紋形付職、菓子種製職、割鐵鍛冶大工、陶器製職、
 醬油杜氏、罐詰製職、紋書職、陶器染付職、骨角細工職、蹄鐵工

三等 年稅 金壹圓
 翫弄物細工職、足袋製職、筆墨製職、傘提燈職、煙草刻職、和服マントシャツ仕立
 職、木履指、陶器燒繕職、絹布洗張職、鋸磨職、草屋根葺、印刷職、瓦製職、革細

工職、銅作絞油蠟職、綿帽子製職、西洋洗濯職、割鐵鍛冶下、堀拔井戶職、鬚髻職、家輓、吳座製職、帽製職、檢石製職、印肉製職、擊劍具職、入齒師、弓矢製職、漆製職、酢杜氏、下駄挽、算盤職、藍製職、燐寸軸木製職、椎茸作職

四等 年稅 金七拾錢

海松細工職、鑄掛職、線香製職、鏡目立職、綿打、製本職、煉瓦製職、骨木剝職、炭燒職、鑪炭坂、元結製職、キルク製職、造花職、貝細工職、箴製職、籐細工職、扇子扇團製職、眼鏡製職、布晒職、木桶製職、帽直シ職、紅白粉製職、篩製職、綿線職大器械ヲ用、キルモノ、桐油合羽職、樟腦製職、土白製職、葛水干粉製職

五等 年稅 金五拾錢

紙漉職、提燈火袋製職、鏡磨職、研物職、鋸齒立職、針金細工職、竹細工職、綿打弦製職、鍛冶向打、割鐵鍛冶向打、蝙蝠傘直シ職戸々ニ付キ業ヲ、爲スモノヲ除ク、下駄直シ職付キ業ヲ爲スモノヲ除ク、弓弦製職

第十一條 雜種稅ハ左ノ課目及課額ニ依リ之ヲ賦課ス

料理屋	上リ高金六百圓以上	金六圓
仕出料理 <small>ナナ</small>	以上百圓ヲ加フル毎ニ金五拾錢ヲ增加ス	
スモノヲ包含	全	四百圓以上
全	全	參百圓以上
全	全	金四圓
待合茶屋	全	貳百圓以上
遊船宿	全	金參圓五拾錢

芝居茶屋

全 貳百圓未滿 金參圓

上リ高金參百圓以上 金四圓

以上百圓ヲ加フル毎ニ金五拾錢ヲ增加ス

飲食店

全 貳百圓以上 金參圓

全 百圓以上 金貳圓

全 五拾圓以上 金壹圓

全 五拾圓未滿 金五拾錢

湯屋

温泉浴、海水浴、蒸氣浴、洗湯、藥湯ノ類

一等地 年稅 一浴槽ニ付 金壹圓

松江市、鍛川郡今市町、邇摩郡温泉津町、那賀郡濱田町、有福村大字上有福、美又村大字追原

二等地 年稅 全 金八拾錢

能義郡安來町、廣瀬町、大原郡海潮村大字中湯石、鍛川郡平田町、杵築町、邇摩郡大森町、安濃郡大田町、美濃郡益田町、鹿足郡津和野町、周吉郡西郷町

三等地 年稅 全 金六拾錢

八束郡美保關村、玉湯村大字玉造、宍道村、能義郡荒島村、仁多郡温泉村大字湯村、大原郡木次町、大東町、鍛川郡莊原村、直江村、大津村、杵築村、安濃郡佐比賣村

大字志學、邑智郡川本村、那賀郡江津村
四等地 年稅 全 金四拾錢

一等乃至三等地以外ノ各町村
宿屋、料理屋等ニ於テ温泉浴槽ニ設クルモノニモ本稅ヲ課ス一浴槽ニシテ男女槽ヲ分
ツモノハ二浴槽トシテ計算ス

理 髮 人

十八年未滿ノモノハ本稅ノ半額トス

一床場ニ於テ業ヲナスモノ

一等地 年稅金 男 貳圓五拾錢
女 貳圓

松江市、那賀郡濱田町

二等地 年稅金 男 貳圓
女 壹圓五拾錢

能義郡安來町、廣瀬町、澁川郡今市町、平田町、杵築町、邇摩郡大森町、温泉
津町、安濃郡太田町、美濃郡益田町、鹿足郡津和野町、周吉郡西郷町

三等地 年稅金 男 壹圓五拾錢
女 壹圓

八束郡美保關村、宍道村、能義郡荒島村、大原郡木次町、大東町、澁川郡莊原

村、直江村、大津村、杵築村、邑智郡川本村、那賀郡江津村、有福村

四等地 年稅金 男 壹圓
女 五拾錢

一等乃至三等地以外ノ各町村

二床場外ニ於テ業ヲナスモノ 年稅金 男 壹圓
女 五拾錢

遊 藝 師 匠 年稅 金參圓

遊 藝 稼 人

能狂言、淨瑠璃、手踊、輕業、曲馬、人形遣、烏獸遣、足藝、琴三味線彈、軍談、浮
節、手品、獨樂廻、茶番、新内、祭文、常盤津、源氏節、調輕、歌謠、說經、物真
似、落語家、八人藝、居合拔、伊勢神樂、素人神樂、越後獅子、其他技藝ヲ稼業トス
ルモノ

十八年未滿ノモノハ本稅ノ半額トス

一 等 演劇興行場及ヒ人寄席ニ於テナスモノ 月稅 金八拾錢
二 等 一等以外ノモノ(門付及路傍ニ於
テ爲ス者ヲ除ク) 月稅 金五拾錢

相 撲 月稅 金貳拾錢

行司ヲ包含ス

十八歲未滿ノ者ハ本稅ノ半額トス

俳 優 月稅 金八拾錢

十八年未滿ノ者ハ本稅ノ半額トス

藝 妓

十二年未滿ノモノハ本稅ノ半額娼妓ヲ兼ヌルモノハ本稅ノ三分ノ一トス

一等地 月稅 金四圓

松江市、那賀郡濱田町

二等地 月稅 金參圓

能義郡安來町、簸川郡今市町、杵築町、平田町、邇摩郡温泉津町、美濃郡益田町、

周吉郡西郷町

三等地 月稅 金貳圓五拾錢

八束郡美保關村、能義郡廣瀬町、邇摩郡大森町、安濃郡太田町、鹿足郡津和野町

四等地 月稅 金壹圓五拾錢

一等乃至三等地以外ノ各町村

幫 間

一等地 月稅 金壹圓

松江市、那賀郡濱田町

二等地 月稅 金五拾錢

一等地以外ノ各町村

市 場

牛馬市ニ限ル

一等地 日稅 金貳圓

仁多郡横田村大字横田町、邑智郡出羽村大字三日市、出羽、田所村大字下龜谷

二等地 日稅 金壹圓五拾錢

能義郡宇賀莊村大字野外、仁多郡八川村大字下横田、大原郡大東村大字大東町、飯

石郡掛合村大字掛合町、波多村大字波多、頓原村大字頓原町、赤名村大字赤名、安

濃郡佐比賣村大字志學、邑智郡阿須那村大字阿須那、美濃郡高津村大字須子

三等地 日稅 金壹圓

一等地二等地以外ノ各町村

演 劇

興 行

日稅 客人一人ニ對スル收得金ノ二十人分ニ相當ノ金額

收得金ハ木戸錢、場代、下足料等客人一人ヨリ收得スル最高一人分ヲ通算ス場代ニシテ區劃ヲ設クルモノハ一坪(方六尺)十人トシ其定員ヲ以テ料金ヲ除シテ得タルモノヲ

一人分トシテ計算ス

遊 覽 所

日稅 金貳拾錢

視眼鏡、蓄音器

遊 技 場

一等 月稅 金五拾錢

常設 日稅 金五錢

二等 臨時 月稅 金壹圓五拾錢

人

積石五十石未滿 年稅長 底板ノ 二間迄金四拾錢以上一間迄ヲ 加フル毎ニ金拾錢ヲ增加ス

及浮漁船小廻船 年稅長 底板ノ 二間迄金壹圓以上一間迄ヲ加 フル毎ニ金四拾錢ヲ增加ス

遊 船 年稅 金四拾錢

車

馬車二頭立以上 年稅 金五圓

馬車一頭立 年稅 金參圓五拾錢

人力車二人乘 年稅 金參圓

人力車一人乘 年稅 金貳圓五拾錢

荷積牛馬車 年稅 金參圓五拾錢

荷積車

荷臺ノ縱横尺積十三坪以上 年稅 金貳圓五拾錢

同 九坪以上 年稅 金貳圓

同 五坪以上 年稅 金壹圓五拾錢

同 五坪未滿 年稅 金壹圓

猫車 年稅 金五拾錢

水

僧都ノ類ハ半額トス

挽 白 年稅一ケニ付 金七拾錢

搗 白 年稅一ケニ付 金參拾錢

諸機關ニ用フル水車 年稅一ケ所ニ付 金參圓

乘馬 年稅一頭ニ付 金參圓

屠畜 年稅一頭ニ付 金參圓

牛 一頭ニ付金壹圓五拾錢

馬 羊 豚 一頭ニ付金五拾錢

漁業採藻 外海ノ部

鯨 魚 年稅金上リ高千分ノ十五

海 驢 魚

當該漁業者ニ非ラサルモノニ於テ捕獲シタルトキ亦本稅ヲ課ス

鱈 魚

一等 一側 年稅金五拾錢及上リ高千分ノ十五
 網ヲ用フルモノ
 二等 一人 年稅金參圓

釣ヲナスモノ

大敷網 一側 年稅金壹圓及上リ高千分ノ十五

地曳網 一側 年稅金五拾錢及上リ高千分ノ十五

四張網 一側 年稅金五拾錢及上リ高千分ノ十五

方言加賀津網、五艘網ヲ包含ス

鯖網 一側 年稅金五拾錢及上リ高千分ノ十五

飯掛網

一等 一側長三百尋以上 年稅金四圓五拾錢

二等 一側長三百尋未滿 年稅金參圓

手繰網

丈高網、蝸牛網ヲ包含ス

一等 一側長七十尋以上 年稅金參圓五拾錢

二等 一側長五十尋以上 年稅金貳圓五拾錢

三等 一側長三十尋以上 年稅金壹圓五拾錢

四等 一側長十五尋以上 年稅金壹圓

五等 一側長十五尋未滿 年稅金五拾錢

文鱈魚掛網

一等 一側長三百尋以上 年稅金貳圓五拾錢

二等 一側長二百尋以上 年稅金貳圓

三等 一側長二百尋未滿 年稅金壹圓

掛網

一等 一側長二百尋以上 年稅金貳圓

二等 一側長百尋以上 年稅金壹圓五拾錢

三等 一側長五十尋以上 年稅金壹圓

四等 一側長五十尋未滿 年稅金五拾錢

鯽掛網 一側 年稅金四圓五拾錢

八手網 一側 年稅金四圓

鯽網 一側 年稅金參圓五拾錢

中曳網 一側 年稅金參圓

揚著網 一側 年稅金參圓

巾待網 一側 年稅金參圓

張待網 一側 年稅金參圓

鱸掛網	一側	年税金壹圓五拾錢
大黒網	一側	年税金七拾錢
張切網	一側	年税金七拾錢
立網、繰込網ヲ包含ス		
潜水器	一臺	年税金貳拾圓
船釣	一人	年税金八拾錢
投網	一人	年税金七拾錢
四手持網	一人	年税金五拾錢
柄持網	一人	年税金四拾錢
包含ス		
章魚掛	一人	年税金參拾錢
磯釣	一人	年税金貳拾錢
海鼠採落石	一人	年税金貳拾錢
手網	一人	年税金貳拾錢
採貝藻	一人	年税金貳拾錢
漁業場區		

第一種

一等 年税一場區ニ付 金貳圓

定置漁業第一號(ノ網ヲ除ク)第二號及特別漁業第一號第二號ニ該當スルモノ

二等 年税一場區ニ付 金壹圓

定置漁業第三號乃至第五號及特別漁業第三號乃至第六號第八號ニ該當スルモノ

三等 年税一場區ニ付 金五拾錢

定置漁業第一號中ノ網第六號第七號特別漁業第七號及第九號ニ該當スルモノ但

シ定置漁業第七號中張切網ハ本税ノ十分ノ四トス

第一種 年税一反歩ニ付金參錢

區劃漁業ニ該當スルモノ

漁業法施行規則第七條但書ニ規定スル漁業權ヲ得タル場合ニアリテハ各別ニ本税額十分ノ八ヲ賦課ス

中海及湖川ノ部

地曳網 一側 年税金五拾錢及上リ高千分ノ十五

中曳網 一側 年税金參圓

張待網 一側 年税金參圓

出雲國大橋川及其支川並佐陀川ニ於テ業ヲナスモノ

包含ス 方流網 方言下待 網、逆待網 ホリ網、 手先網 包含ス 掛	鮎 掛	章魚掛	釣魚	多葉漬	龍採	鰻搔	海鼠採落石	壺網	手網	採貝藻	鰻箱
チヤグリ掛ハ本税ノ二倍トス			一人			一人			一人		一人
			年税金四拾錢			年税金參拾錢			年税金貳拾錢		年税金七錢

鵜籠
漁業場區

第一種

一等 年税一場區ニ付金壹圓

中海定置漁業及特別漁業、湖川定置漁業中越中網張待網一等(囊網)及白魚張切網漁場

二等 年税一場區ニ付金五拾錢

定置漁業及特別漁業ニシテ一等以外ノモノ但シ湖川ノ漁堰、張待網二等、鏡漁、張切網ハ本税十分ノ四等漁ハ本税十分ノ二トス

第二種 年税一反歩ニ付金參錢

區劃漁業ニ該當スルモノ

漁業法施行規則第七條但書ニ規定スル漁業權ヲ得タル場合ニアリテハ各別ニ本税額十分ノ八ヲ賦課ス

遊漁 一人 年税金五拾錢

海船釣及湖川鮎掛ヲ爲スモノハ各其ノ本税ト全額ヲ賦課ス

西洋形船

蒸氣船 年税登簿噸數一噸ニ付金參拾五錢

風帆船 年税登簿噸數一噸ニ付金拾五錢

バターラ船 年税金五拾錢

日本形船

積石五十石以上年税一石ニ付金貳拾錢

自轉車 年税金貳圓五拾錢

仲仕 年税金五拾錢

屠手 年税金五拾錢

鳥獸獵

一等 狩獵法第十一條一等ニ該當スルモノ 年税甲乙各種ニ付金四圓

二等 同條二等ニ該當スルモノ 年税甲乙各種ニ付金貳圓

三等 同條三等ニ該當スルモノ 年税甲乙各種ニ付金四拾錢

私法人使用建物

事務所 年税一坪ニ付金貳拾錢

全上二階以上 全 金拾錢

事務所倉庫以外ノ建物 全 金拾錢

全上二階以上 全 金五錢

石造煉瓦造土藏造事務所 全 金參拾錢

全上二階以上 全 金拾五錢

全上事務所及倉庫以外ノ建物 全 金拾五錢

全上二階以上 全 金八錢

倉庫 全 金拾五錢

全上二階以上 全 金八錢

店舗、寄宿舎、食堂、小使室、宿直室、門衛詰所ノ類ハ事務所ニ包含ス外、座張ナキ外廊下、井戸屋形、四阿屋、仮小屋、軒下、門、塀ノ類ハ坪數ニ算入セス

代書人

一等地 年税 金參圓

松江市、那賀郡濱田町 年税 金貳圓

二等地 年税 金壹圓

裁判所又ハ郡役所々在ノ各町村 年税 金壹圓

三等地 年税 金壹圓

一等地、二等地以下ノ各町村 年税 金壹圓

乳牛 年税一頭ニ付金壹圓

製糸器械 年税一人取一臺ニ付金拾錢

二人取以上一人ヲ加フル毎ニ金拾錢ヲ増加ス

器械機一臺ニ付金四拾錢

手織機一臺ニ付金貳拾錢

織物器械

年税

製材器械

年税 鋸一枚ニ付金五拾錢

電氣力又ハ蒸氣力ヲ應用スルモノニ限ル

穀物搗碎器械

年税

擣臼ロール一個ニ付金四拾錢
擣臼チ含ム一個ニ付金貳拾錢

電氣力又ハ蒸氣力ヲ應用スルモノニ限ル

第十二條 私人使用建物税ハ松江市以外ニ屬スル建物ニ就キ賦課シ乳牛、製糸器械、織物器械、製材器械、穀物搗碎器械ハ各其ノ營業ノ用ニ供スル物件ニ就キ之レヲ賦課ス

數ヶ所ノ營業場ヲ設クルモノハ各別ニ其税ヲ賦課ス

第十三條 同一ノ構内ニ於テ自己製造ノ物品ヲ販賣シ又ハ其ノ製造品ニ他人ノ製造ニ係ル同種類ノ物品ヲ併セテ販賣スルモノハ製造業者トシテ製造業税ノミヲ賦課ス其ノ行商若クハ一時露店ヲ設ケ販賣スルモノ亦同シ
同一ノ構内ニ於テ製造業、販賣業ヲ兼ネ又ハ料理屋待合茶屋、遊船宿、芝居茶屋、飲食店ヲ兼テ若クハ旅人宿、下宿屋、木錢宿ヲ兼ヌルモノハ課税標準ヲ通算シ税率ノ重キニ從テ賦課ス

製造業者ニシテ自ラ職工ト均シキ業ヲ爲スモノハ當該職工税ニ比シ税額ノ重キニ從ツテ賦課ス

但シ家族ニシテ其業ヲ助クルモノアルトキハ職工税三分ノ一ヲ増加ス

職工及遊藝稼人ニシテ數ヶノ等級ノ業ヲ兼テ若クハ理髮人ニシテ一號、二號ノ業ヲ兼ヌルモノハ税額ノ重キニ從テ賦課シ税額ノ均シキモノハ主タル一方ニ就キ賦課ス

賣藥販賣業者ニシテ行商ノミヲナスモノハ販賣業税ヲ賦課セス

漁業採藻中同種ノ業ヲナスモノ及人頭ニ就キ賦課スヘキ數種ノ業ヲナスモノハ其ノ税額ノ重キニ從ツテ賦課シ税額ノ均シキモノハ其ノ主タル一方ニ就キ賦課ス

張切網ニ笠ヲ付スルモノ別ニ笠業税ヲ賦課セス

第十四條 藝妓ニシテ置屋外ニ居住スル者ハ置屋ニ等シキ税額ヲ増課ス

第十五條 土地ニ依リ税額ノ異ナルモノニシテ場所ヲ定メサルモノハ現住地ノ税額ニ依リ賦課ス

高税地ニ出テ營業テナスモノハ高税地ノ税額ニヨリ賦課ス

前各項以外ノモノニシテ時々出稼テナスモノハ現住地ニ於テ賦課ス

第十六條 漁業採藻中各種目以外ノモノハ類似ノ種目ニ依リ賦課ス

第十七條 課税標準中上リ高及請負金額並ニ宿泊客數ハ前年中ノ總額ニ依ル其ノ一ケ年ニ滿タサルモノハ比例ヲ以テ之ヲ推算ス

但シ前年中ノ實額ナキモノ及新起ニ係ルモノハ見積額ニ依ル

各種ノ網ニ付屬スル繩網ハ總テ其ノ尋數ニ算入ス

營業ヲ繼續シ又ハ繼續ト認ムヘキ事實アルモノハ該年度ハ前營業者ノ課税標準ニ依リ翌年度ハ前各項ノ規定ニ從ヒ前營業ニ於ケル課税標準ヲ通算ス

同一場所ニ於テ六ヶ月以内ニ前營業ト同一ノ營業ヲ開始スルモノハ繼續者ト見做ス
第十八條 課稅標準ノ届出ヲナサス若クハ其ノ届出ヲ不相當ト認ムルトキハ其課稅標準ヲ認定ス

第十九條 左號ニ該當スルモノハ營業稅、雜種稅ヲ賦課セス

一 倉庫船、水災ノ爲メ陸地ニ備置ク船、賃金ヲ受ケサル渡場及ヒ船橋ノ組成ニ用フル船、航海中本船ニ揚置ク傳馬船、及ハツテラ船、學校生徒ノ運動ニ專用スル船、他ニ連絡セサル池沼ニ浮ヘ營利ニ使用セサル船

二 國縣郡市町村其ノ他公共團體ノ所有ニシテ直接公用ニ供スル物件及乘馬、陸軍乘馬飼養條例ニ依リ飼養スルモノ、乘馬、祭典專用ノ山車

三 從來縣内ニ用ヒサル漁具ニシテ試驗ノ爲メ使用スルモノ但シ三年以内ニ限ル
四 政府發行ノ印紙、切手類ヲ販賣スルモノ

五 農隙ニ於テ紙、吳座、蕭、菰、繩、草履、草鞋等ヲ製造スルモノ但シ一ケ年上リ高百圓以上ノモノ又ハ職工雇人ヲ使用スルモノハ此限ニアラス

六 販賣業、製造業、及飲食店ノ專業者ニシテ一ケ年上リ高拾圓未滿ノモノ

七 賣藥行商及職工、理髮人、遊藝師匠、遊藝稼人、相撲、俳優、幫間、仲仕、屠手、代書人、ニシテ十五年未滿六十年以上ノモノ

八 漁業採藻中自己ノ耕作ニ要スルカ爲メ採藻ヲナスモノ及十五年未滿六十年以上ニシテ人頭ニ就キ賦課セラル、業ヲナスモノ

九 營業場ヲ設ケスシテ各自收穫ノ農產物又ハ捕獲物ヲ製造若クハ販賣スルモノ但シ蠶種

ヲ製作販賣スルモノ又ハ椎茸ヲ乾燥販賣スルモノハ此ノ限ニアラス

十 國縣郡市町村費ヨリ六ヶ月以上引續キ救恤ヲ受クルモノ

十一 七號ニ掲クル營業者及漁業採藻中人頭ニ就キ賦課セラル、モノニシテ盲者、啞者、聾者、其他自用ヲ辨セサル不具廢疾者

十二 營業稅、雜種稅ノ各課目中慈善事業ノ爲メニスルモノ

十三 營利ヲ目的トセサル私法人使用ノ建物

第四章 營業稅附加稅

第二十條 營業稅附加稅ハ年稅トシ本稅徵收額ノ十分ノ二ヲ賦課ス

第五章 鑛業稅附加稅

第二十一條 鑛業稅附加稅ハ年稅トシ本稅徵收額ノ十分ノ一ヲ賦課ス

第六章 戶數割

第二十二條 戶數割ハ年稅トシ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ一戶トシ松江市以外ノ現住者ニ之ヲ賦課ス

一 本籍、寄留、戶主、非戶主ヲ問ハス現ニ一戶ヲ構フルモノ

二 同居戶籍ヲ異ニスルモノ數人一異爨ノ者又ハ同居同爨ト雖モ別個ノ生計ヲ營ム者及ヒ自ラ炊

事ヲ爲サス他人ノ家宅内ニ同居シ他ヨリ賄ヲ供給セシムル者

三 官有公有ノ建物又ハ銀行、會社、社寺、病院、寄宿舎、其他工場内等ニ居住シ獨立ノ

生計ヲ營ム者

第二十三條 左號ニ該當スル者ハ戸數割ヲ賦課セス

一 寄宿舍及工場内ニ居住スル生徒、職工、人夫ノ類

二 宿料若シクハ賄料ノミナリ拂ヒ宿泊スルモノ及ヒ他人ノ家ニ寄宿シ又ハ一家ニ集居スル生徒徒弟

三 傭主又ハ抱主ト同居ノ雇人及藝娼妓

四 國縣郡市町村ヨリ六ヶ月以上引續キ救助ヲ受クルモノ

第二十四條 戸數割ハ四月一日賦課セラルヘキ現住戸數ニ稅率ヲ乘シタルモノヲ以テ其町村ノ受高トス

各町村ハ前項ノ受高ニ依リ四月三十日限り町村會ニ於テ一定ノ標準ニ依リ認定シタル資力ニ從ヒ各個ノ等差及ヒ課額ヲ議決スヘシ

但シ貧困者ハ町村會ノ決議ニ依リ賦課セサルヲ得ルト雖モ其ノ町村ノ受高ヲ減少スルコトヲ得ス

前項ノ課額決定後町村ノ分合又ハ境界變更アリタルトキハ各其ノ決定額ニ依ル

資力等差認定ノ標準ハ豫メ町村會ニ於テ議決スヘシ

四月一日ヲ經過シタル後追加賦課ヲナストキハ第二項ノ資力等級ニ依リ之ヲ賦課ス

但シ町村ノ受高ハ其ノ賦課期日ニ賦課セラルヘキ現住戸數ニ依リ之ヲ定ム

賦課期日後納稅義務發生シ又ハ課稅ノ脱漏ヲ發見シタルトキハ既定各個ノ等級課額ニ比

準シテ之ヲ賦課ス

第二十五條 年度中途ニ於テ他町村ニ轉居シタルモノハ第一ノ町村ニ於テ決定シタル課額ニ依リ賦課ス

但シ島ヨリ郡部ニ轉居シタルモノハ前條第六項ノ例ニ依リ郡部ニ係ル戸數割ヲ賦課シ郡部ヨリ島ニ轉居シタルモノ九月以前ナルトキハ後期ノ戸數割ハ郡部ニ係ル者ヲ扣除ス

第二十六條 戸主其家ニ在住セサルトキハ其ノ家族ヲ主宰スヘキ者ヲ以テ納稅義務者トス

第六章ヲ第七章トシ第二十五條ヲ第二十七條トシ以下順次繰下ク